



	チェック項目	工夫している点・改善目標など
環境・体制整備	1 利用定員と指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか	活動や学習する時にパーティションで区切ったり、配置を変えたりして工夫しています。
	2 職員の配置は適切であるか	その日の利用者数や特性、行事等を考慮しながら基準以上の人員配置をしています。
	3 事業所の設備等について、子どもたちへの配慮が適切になされているか	常に子どもたちの動線を考慮しながら、安全面に留意します。
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	職員会議や業務前の申し送り等で、新たな取り組みや支援の改善点について話し合っています。
	5 保護者等向け評価表の活用等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	アンケートで保護者の意向を職員同士で共有し、業務の改善に勤めています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	自己評価を実施し、法人ホームページにて公開しています。
	7 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	定期的に職員研修を実施しています。外部研修に参加して、必ずフィードバックを行なっています。
適切な支援の提供	8 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	新規利用時や定期的な保護者との面談時にはアセスメントを行う。子どもや保護者のニーズにあわせてどんな支援が必要か検討し、支援計画を作成しています。
	9 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	法人内で共通化された、子どもの適応行動を状況把握するアセスメントツールを使用しています。
	10 活動プログラムの立案をチームで行っているか	リーダーを中心として、メンバーと職員会議等で検討し実施しています。
	11 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	毎日の申し送り等で、情報交換を行ない、子ども達の意欲を引き出すよう工夫しています。
	12 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	子ども達一人一人の発達に応じて、個別活動と集団行動の時間をとっています。
	13 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	毎日の申し送り等で、子ども達一人一人の支援内容を細かく話し合っています。
	14 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	送迎終了後に当日の振り返りを行うが、できない場合は記録にて申し送り事項を情報提供しています。
	15 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	保護者との連絡帳を活用して、記録された文書は職員に周知、情報共有を行なっています。
16 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	半年に一回のモニタリングを実施。個別支援計画の見直しを行なっています。	

NO. 2	チェック項目	工夫している点・改善目標など
関係機関や保護者との連携	17 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	支援を実施して、子どものことを熟知している職員が参加して情報交換・共有を行なっています。
	18 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	保護者や学校の先生から行事等の情報を事前にいただいたり、送迎時に先生とよく情報交換を行なっています。
	19 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	医療ケアが必要な利用者は、現在いません。発作等の緊急な対応が必要な利用者の対応マニュアルを作成して、職員間で共有して非常時に備えています。
	20 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	相談事業所を通じて、情報交換・共有を行なっています。
	21 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	相談事業所を通じて、情報交換・共有を行なっています。
	22 （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	毎回、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	23 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	送迎時や電話等で面談以外においても保護者との連絡を密にとって、常に情報共有に努めています。
	24 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	送迎時や連絡帳、電話や面談を通じてペアレントトレーニング等を行なっています。
保護者への説明責任	25 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に重要事項説明書を提示して、各項目について丁寧に説明を行なっています。
	26 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	保護者の相談や悩み事を常にキャッチして、面談等で助言や支援を行なっています。
	27 父母の会の活動を支援したり、保護者会やNPO総会等の開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	保護者が集まる機会としてNPO総会後に保護者会を行っております。さらなる保護者同士の連携もっていきたいところですが、お仕事の都合や必要ないと意見などもあり実現に至っておりません。
	28 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情や申し入れ等は職員間で情報交換・共有を行い、組織として迅速な対応を行なっています。
	29 定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月、「えんでこだより」を発行し活動報告を行なっています。活動予定については、翌月の利用希望表等に記載して周知を行なっています。
	30 個人情報に十分注意しているか	法人の法令遵守の指針に遵守しています。
	31 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	子どもにも保護者にもわかりやすい対応を、常に心掛けています。
非常時等の対応	32 緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	マニュアルは、整備して事業所にファイリングされて、閲覧可能にしています。定期的に職員・保護者へ向けて発信していきます。
	33 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	半年に一回、火災や地震を想定した避難訓練を利用者と共に実施しています。
	34 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	年に一回以上の法人研修の研修参加に加えて、職員会議等で周知徹底しています。
	35 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	身体拘束事例はありませんが、必要時の手順をマニュアルで定め周知しています。
	36 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	利用者のアレルギー情報をアセスメント時に聞き取り、その都度、検査結果等を職員間で情報共有しています。
	37 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハット発生時、記入した様式をファイルにとじています。いつでも職員が閲覧可能として、共有し改善に繋げています。